



梅田だより

茅ヶ崎市立梅田小学校 TEL85-1125

めざす児童像「やさしく かしこく たくましく」

令和6年1月31日

2月号

NO. 608

校長 大久保仁晶



夢中に学ぶ子を目指して

日本海側では大雪が報道されていますが、茅ヶ崎は気温が寒い日もある一方、暖かい日もあり、と寒暖差がその日によってある感じです。梅田小のシンボルとも言える紅梅の花が咲き出し、間もなく白梅も咲くのではないかと楽しみでもあります。そんな中、感染症や胃腸炎での欠席が多く見られるようになってきました。これからが寒さも本格的になってくる季節です。栄養、休養を十分にとって、残り2ヶ月となった現在のクラスでの生活を過ごしていきましょう。



くじら池も凍る日があります

さて、1月号の学校便り裏面で、29日(月)が「校内研究」とあり、6-1以外は4校時で下校となっていました。6月、9月、12月も該当クラス以外は4校時で下校の場面があったと思います。この日は代表者の授業を参観し、協議し、授業力を向上するための授業研究の場として設けています。梅田小学校では、「夢中に学ぶ子を目指して～つなぐ・つなげる・つながる～」を校内研究のテーマとして昨年度に引き続き掲げています。目指す学校像(笑顔いっぱい梅田小)や、目指す子ども像(やさしく、かしこく、たくましく)を実現するためには、学習指導要領でも取り上げられている、主体的対話的で深い学びが必要で、それを実現するために、授業が楽しく夢中になれること、友達同士で意見交換をする場や全体で考えを交流する場が重要と考えています。

先ほど代表者が授業をする、と述べましたが、その前段階として、授業の流れを記した指導案を他のクラスで行ったり、同じ学年の他の先生が行ったりして、当日に臨んでいます。時々、担任以外の先生が教室に来るのは、そのような場合もあります。「指導案」という授業の流れを書いた資料を作って授業に臨みますが、授業もやはり「百聞は一見にしかず」です。なかなか想定内に進まないことも多くあります。(それで、よいとも思っています。)

また、授業後には、子どもたちの授業中の様子をもとに参観者で協議会を行っています。今日の授業のポイントなど、この協議会でいろいろ意見交換をすることで、よりよい授業の形が見えてきます。また、外部からの視点として、講師も招いています。茅ヶ崎市教育委員会の指導主事とともに、國學院大學教授の田村学先生から指導を受けています。多くの授業を見ている方の指導なので、よかった点とともに、具体的な課題も教えていただいています。そこで学んだことを、授業者はもちろん参観者も明日の授業に生かそうと考えています。

年に何回も行えるものではありませんが、授業力を向上するには、いろいろな授業の実践を参観すること、そして自らの授業を見てもらうことが何より大切と考えています。子どもたちが夢中に学ぶ姿が多く見られるよう、これからも研修を深めてまいります。

6年級外の古屋牧子教諭が2月4日より産休に入ります。